

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		子どものまち推進事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市子どものまちづくり推進協議会活動費補助金交付要綱 鳴門市次世代育成支援対策行動計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 14 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期	未定
(小項目)		子どものまち				
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援				
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市子どものまちづくり推進協議会は、地域で子どもを育てるネットワークづくりを目指す。「なると再発見子どもバス」は、子どもたちが鳴門の良さを再発見する機会を創出することを目指す。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	・第13回子どものまちフェスティバル(H27/10/18) ・なると再発見子どもバス(H27/11/3) ・ホリデーフリーバス事業 ・子どものまちづくり指導者養成講座(H28/2/20)						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		鳴門市子どものまちづくり推進協議会の新規加入団体	2	2	2	2	2	団体

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「子どものまちフェスティバル」を、子どものまちな主体的な体験活動の事業として「鳴門のまつり」と同時開催した。地域でのネットワークづくりを推進していくための鳴門市子どものまちづくり推進協議会については、各団体に新たに地域で積極的に子どものまちに取り組んでもらえる団体などについての情報提供や周知をお願いした。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	64	65	67	69	71	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	10,000	10,000	6,000	6,000	6,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	鳴門市子どものまちづくり推進協議会の新規加入団体		2	1	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)			50.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	60	444	504
		全体予算額		0	0	0	60	444	504
		決算額		0	0	0	27	341	368
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,372		1,740			

【事務事業名：子どものまち推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	2,116	368	558	558	558
	うち一般財源	2,083	341	498	498	498
	人件費	1,376	1,372	1,372	1,372	1,372
	総事業費	3,492	1,740	1,930	1,930	1,930

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	「鳴門のまつり」と同時開催になり、参加者の増加で多くの関係機関・団体と連携がとれた。それにより、活動の充実性、幅広い広報活動ができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	鳴門市子どものまち推進協議会の多くの団体の協力を得て伝統的な遊び、子どもたちの主体的な体験活動を支援しフェスティバルは大盛況だった。
②成果に対する評価	指標名	鳴門市子どものまちづくり推進協議会の新規加入団体	
	目標	2	団体
	実績	1	団体
	評価	D:目標を達成できなかった	
③総合的な評価		B	本市最大規模の子育てイベントであり、毎年多くの来場者で賑わっているが、新規団体の加入目標は達成できていない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成27年度「子どものまちフェスティバル」は好天に恵まれ、来場者数が「鳴門のまつり」も含め約1万人となった。昨年は時間延長を望む団体が多数いたことから、27年度は開始時間を2時間早め、10時～15時とした。今後も、参加者・団体の意見を取り入れながら実施していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	今後も関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ると共に幅広く広報を行い、参加者の増加を図る。			
	平成29年度	継続			